

Title	法学会講演会
Author(s)	
Citation	阪大法学. 2006, 55(6), p. 284-284
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/54898
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

雑録

法学会講演会

日時 平成一七年二月一日(木) 午後一時より二時半

場所 法経大学院総合研究棟四階大会議室

講演 ベアタ シマンスカ研究員(グローニンゲン大学)

「法の受容の成功例——中央東ヨーロッパでのEU法
継受の研究をもとに——」

通訳 長田真里助教

日時 平成一七年二月一日(木) 午後三時より五時

場所 法経大学院総合研究棟四階大会議室

講演 クリストイーン・ノヴァイル教授
(フランス国立科学研究センター)

「科学、決定、行動」

予防原則についての三側面からの考察」

通訳 松田岳士助教

日時 平成一八年一月五日(木) 午前一〇時より一二時半

場所 法経大学院総合研究棟三階L2教室

講演 カトウリーヌ・フィリップ助教(プザンソン大学)

通訳 松川正毅教授

「フランス家族法の改正」

日時 平成一八年一月三〇日(月) 午後二時より

場所 法経大学院総合研究棟四階大会議室

講演 ヘルマン・ブローリング教授(グローニンゲン大学)

「EUにおける法曹の新しい職域について——オランダの場合」

通訳 福井康太助教

日時 平成一八年二月二日(木) 午後三時より

場所 法経大学院総合研究棟四階大会議室

講演 朴 洪圭教授(嶺南大学校)

「韓国における法曹の新しい職域について」